

授業科目名： 教育相談（初等）	教員の免許状取得のため の必修科目	単位数： 2 単位	おざわけいこ 担当教員名：小澤敬子
			担当形態：単独
実務内容 （実務家教員の場合）	公認心理士として心の健康の維持・増進の為の相談や研修等の活動を行う		
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法		
「学位授与の方針」との関係 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけ、問題が発生する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概をもつこと。			
授業の到達目標及びテーマ 幼児、児童及び生徒の発達状況に即しつつ個別の理解を深め、教育的課題を適切に捉えて支援する為に必要な基礎知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的な知識を含む）を身に付ける。			
授業の概要 （１）教育相談の意義と理論及び相談に必要な人間理解と関わりを理解する。 （２）相談活動を進める際に必要な基礎的な知識（カウンセリングに関する基礎的な内容を含む）を理解する。 （３）教育相談の進め方やそのポイント、組織的な取り組みや連携の必要性を理解する。			
授業計画 第１回：教育相談とは１．（定義・目的・歴史） 第２回：教育相談とは２．（対象・機能・意義） 第３回：教育相談の活動１．（人間理解の重要性と方法） 第４回：教育相談の活動２．（関わりの重要性と方法） 第５回：教育相談におけるアセスメント 第６回：教育相談活動の方法１．カウンセリングの理論と技法 第７回：教育相談活動の方法２．カウンセリングのマインド 第８回：幼児・児童期の発達と教育相談 第９回：不適応行動に対する教育相談（いじめ・不登校・暴力行為への理解と支援） 第１０回：特別な支援における教育相談（発達障害・性別違和への理解と支援） 第１１回：学級経営に生かす教育相談 第１２回：保護者理解と援助 第１３回：チーム学校としての教育相談システム 第１４回：地域諸機関との連携 第１５回：教師のメンタルヘルス 定期試験			

スクーリングでの学修内容

学校教育における教育相談の位置づけや活動がどのようなものなのかということを理解し、相談活動を行う際に必要な心構えや適切な支援につなげるための方法として、カウンセリングの理論や技法とマインドについて学ぶ。授業では講義に加えてグループ・ワークを行い、学生相互の意見交換によるアクティブラーニングを通して主体的な学びを可能にすると共に、他者との関わりの体験を通して、今後のさらなる研鑽の為に「教師として相談にのる」ということに関する自分の課題への気づきを期待する。

授業計画の第1回～第15回までを横断的に含む。

教科書

- (1) 春日井敏之 渡邊照美(編)『新しい教職教育講座 教職教育編Ⅰ 2 教育相談』ミネルヴァ書房 2019
- (2) 石隈 利紀・藤生 英行・田中 輝美(編)『生涯発達の中のカウンセリングⅡ 子どもと学校を援助するカウンセリング』サイエンス社 2013年

参考文献

- (1) 会沢信彦(編)『教育相談の理論と方法』北樹出版 2020年
- (2) 谷口篤・丸山真名美(編)『学校で役立つ教育相談』八千代出版 2019年

学生に対する評価

レポート評価(25%)、スクーリング評価(25%)、科目修得試験(50%)の割合で総合して評価する。